

2024 年 8 月 29 日

各 位

SBI ホールディングス株式会社

日本発ブロックチェーンプラットフォーム Oasys と
戦略的業務提携の合意に関するお知らせ

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、「Blockchain for Games」をコンセプトとするゲームに特化したブロックチェーンプロジェクトを運営する Oasys Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：松原 亮、以下「Oasys」）と OAS トークンの流動性向上やエコシステムの強化に向けて戦略的業務提携の締結を行いましたのでお知らせいたします。

Oasys は 2022 年 2 月に発足したブロックチェーンプロジェクトであり、「Blockchain for Games」を掲げ、独自のゲーム特化型ブロックチェーンを開発・運用しています。Oasys の最大の特徴は、高速な処理速度とユーザー負担のガス代の無料化です。立ち上げ当初から現在に至るまで、国内外の主要なゲーム会社や大手通信会社がプロジェクトに参画しており、Web3 の社会実装を支える主要なネットワークとして期待されています。今後、プロジェクト発足当初より連携している国内外大手ゲーム会社各社が取り組んできた数々のブロックチェーンゲームがリリースされる予定です。SBI グループはこれらのコンテンツの成功を後押しすべく、OAS トークンのさらなる流動性向上、認知度向上を目指し、このたび戦略的業務提携を締結いたしました。

SBI グループと Oasys はこれまでも、SBI グループにて暗号資産交換業を運営する SBI VC トレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：近藤 智彦）が 2022 年 3 月に業務提携を締結したことを契機に、SBI VC トレードへの OAS トークン上場、SBINFT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高 長徳）が運営する SBINFT Market への対応などの協業を進めてまいりました。当社はこの度の Oasys との戦略的業務提携を通じて、Oasys 上のコンテンツやゲームトークンとのシナジーの発揮を目指すとともに、ブロックチェーンコンテンツの更なる普及に貢献してまいります。今後も、SBI グループと Oasys での共同キャンペーンやセミナーを予定している他、SBI VC トレードの SBI Web3 ウォレットへの Oasys チェーンの追加、ゲームトークンの上場なども検討しておりますので、是非ご期待ください。



(当社代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝、Oasys Representative Director 松原 亮)

Oasys Representative Director 松原 亮によるコメント：

「Oasys のパートナーによる多くのゲームが今後リリースされる中、それらの成功と Oasys のさらなる成長を支えるために、適切な資金と流動性を確保することが求められます。この課題に取り組むために、強力な支援者が必要でした。米国には著名な VC が存在し、中華圏には強力な取引所グループがありますが、日本発のプロジェクトである Oasys のパートナーとして、日本最大級の金融コングロマリットである SBI 様と歩んでいくことが最適であると確信しました。SBI グループは、これまでのパートナーシップを通じて、Web3 プロジェクトを常に時価総額トップ 10 に入る規模まで成長させてきました。日本の Web3 コンテンツを世界へ放つ発射台となるため、同社と全力で取り組んでいきます。」

SBI ホールディングス 代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝によるコメント：

「Oasys は日本発祥のゲームにおける利用に特化したブロックチェーンプラットフォームとして、開始当初から初期バリデータとして複数の世界的に有名な大手ゲーム開発企業が名を連ねるなど、極めて有望なプロジェクトだと認識しております。当社グループは、2016 年の米 Ripple 社、2017 年の米 R3 社への出資をはじめ、ブロックチェーン・暗号資産領域において早い時期から積極的な種まきに注力しており、多様な商品・サービスを提供できる生態系を構築してきましたが、Oasys との提携を通じて、更なるブロックチェーンのユースケース拡大に尽力したいと考えています。」

◆Oasys について

Oasys は「Blockchain for Games」をコンセプトとするゲームに特化したブロックチェーンプロジェクトです。初期バリデータ（チェーン運用主体）は現時点ではバンダイナムコ研究所などの大手ゲーム会社や Web3 企業など 20 社超で構成されており、合意形成アルゴリズムは環境面にも配慮した

PoS (Proof of Stake) 方式を採用しています。

独自の Oasys アーキテクチャで BCG のユーザーに対して取引手数料の無料化と取引処理の高速化を実現することで、快適なゲームプレイ環境を提供します。

◆SBI グループについて

1999 年創業の SBI グループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、資産運用事業、投資事業、暗号資産事業、次世代事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126